



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日
上場取引所 東

上場会社名 ダイترون株式会社
 コード番号 7609 URL <https://www.daitron.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 伸介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 毛利 肇 TEL (06) 6399-5041
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	15,780	△0.9	740	△14.5	827	△4.2	552	△0.7
2020年12月期第1四半期	15,919	6.7	866	55.7	863	51.7	556	60.3

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 721百万円 (174.5%) 2020年12月期第1四半期 262百万円 (△44.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	49.84	-
2020年12月期第1四半期	50.21	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	50,015	20,187	40.4	1,819.73
2020年12月期	46,247	19,798	42.8	1,784.66

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 20,183百万円 2020年12月期 19,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	20.00	-	30.00	50.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	25.00	-	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	31,000	8.3	1,350	7.4	1,400	10.5	950	17.6	85.65
通期	63,000	9.7	2,700	12.3	2,750	12.9	1,870	16.1	168.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	11,155,979株	2020年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	64,242株	2020年12月期	64,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	11,091,857株	2020年12月期1Q	11,089,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業においては回復の兆しが見え始めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が再加速した影響を受けて、依然として先行き不透明な状況が続きました。

世界経済につきましては、米国は金融緩和等の政策により経済が持ち直し、中国は積極的な経済政策により緩やかに回復しました。しかしながら、各国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたものの、感染拡大が再加速した影響を受けて、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、5G・IoT分野等で設備投資の需要は堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、「第10次中期経営計画(2021年～2023年)」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販、海外事業の拡大、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取組みました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は15,780百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は740百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益は827百万円(前年同期比4.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は552百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

国内販売事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、大型ディスプレイ関連での設備投資が一段落したため「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」の販売が減少しました。電子機器及び部品では、データセンター向けにUPSシステムの販売が、通信機器の生産設備向けに「エンベデッドシステム」の販売が、半導体製造設備関連向けに「画像関連機器・部品」のカメラ・レンズの販売が、それぞれ増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は12,222百万円(前年同期比8.7%増)となり、セグメント利益(営業利益)は492百万円(前年同期比24.1%増)となりました。

国内製造事業

当セグメントにつきましては、製造装置を手掛ける装置事業部門では、通信用デバイス向け製造装置の販売は増加しましたが、ハードディスク関連の製造装置の販売は減少しました。電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門では、特殊コネクタや車両向けハーネスの需要の減少に伴い、それぞれ販売も減少しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は2,012百万円(前年同期比14.4%減)となりました。外部顧客への売上高は793百万円(前年同期比29.3%減)となり、セグメント利益(営業利益)は196百万円(前年同期比36.4%減)となりました。

海外事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品ではアジア市場で「電子部品&アセンブリ商品」の販売が増加しました。製造装置では中国市場で「電子部品製造装置」の販売が増加しましたが、アジア市場で「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」の販売が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は2,764百万円(前年同期比22.2%減)となり、セグメント利益(営業利益)は68百万円(前年同期比60.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は43,141百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,571百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が558百万円、受取手形及び売掛金が1,626百万円、流動資産その他に含まれる前渡金が794百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産が196百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は50,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,768百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は26,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,330百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が808百万円、電子記録債務が1,070百万円、前受金が1,209百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円の増加となりました。

この結果、負債合計は29,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,379百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ388百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当により332百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により552百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.4%となり、前連結会計年度末との比較で2.4ポイントの低下となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大が再加速した影響により、経済についても先行き不透明な状況が続いておりますが、当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、5G・IoT分野等での設備投資の需要が堅調に推移しております。このような事業環境や当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2021年2月5日に公表いたしました「2020年12月期決算短信」に記載の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,280,615	12,838,823
受取手形及び売掛金	11,247,755	12,873,950
電子記録債権	5,668,444	5,837,473
商品及び製品	3,460,365	3,587,731
仕掛品	2,921,476	3,189,302
原材料	275,968	279,695
その他	3,725,425	4,544,908
貸倒引当金	△10,523	△10,523
流動資産合計	39,569,528	43,141,362
固定資産		
有形固定資産	4,273,912	4,226,110
無形固定資産	139,965	188,372
投資その他の資産		
その他	2,271,362	2,467,491
貸倒引当金	△7,586	△7,618
投資その他の資産合計	2,263,775	2,459,872
固定資産合計	6,677,653	6,874,355
資産合計	46,247,181	50,015,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,694,914	7,502,966
電子記録債務	8,058,085	9,128,578
短期借入金	336,253	459,132
1年内返済予定の長期借入金	31,686	—
未払法人税等	429,318	433,225
賞与引当金	88,773	499,584
その他の引当金	30,658	37,607
前受金	6,563,375	7,773,283
その他	988,119	717,050
流動負債合計	23,221,185	26,551,429
固定負債		
退職給付に係る負債	3,165,068	3,215,086
資産除去債務	49,242	49,442
その他	12,988	12,441
固定負債合計	3,227,299	3,276,970
負債合計	26,448,485	29,828,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,559,286	2,559,286
利益剰余金	14,779,043	14,999,145
自己株式	△48,566	△48,566
株主資本合計	19,490,471	19,710,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	733,002	794,458
繰延ヘッジ損益	△990	△6,793
為替換算調整勘定	△157,026	△49,252
退職給付に係る調整累計額	△270,125	△265,033
その他の包括利益累計額合計	304,859	473,378
非支配株主持分	3,366	3,366
純資産合計	19,798,696	20,187,318
負債純資産合計	46,247,181	50,015,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	15,919,988	15,780,398
売上原価	12,773,412	12,729,450
売上総利益	3,146,576	3,050,948
販売費及び一般管理費	2,280,230	2,310,397
営業利益	866,345	740,550
営業外収益		
受取利息	1,060	507
受取配当金	2,011	1,944
保険配当金	10,706	11,806
補助金収入	4,883	6,793
為替差益	—	65,284
雑収入	4,711	6,127
営業外収益合計	23,373	92,464
営業外費用		
支払利息	2,935	1,578
手形売却損	277	251
売上割引	3,134	3,082
為替差損	16,331	—
雑損失	3,326	817
営業外費用合計	26,005	5,730
経常利益	863,713	827,284
特別利益		
固定資産売却益	—	44
特別利益合計	—	44
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	863,712	827,329
法人税、住民税及び事業税	425,466	400,224
法人税等調整額	△118,585	△125,756
法人税等合計	306,881	274,468
四半期純利益	556,831	552,860
親会社株主に帰属する四半期純利益	556,831	552,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	556,831	552,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272,885	61,456
繰延ヘッジ損益	6,288	△5,803
為替換算調整勘定	△32,254	107,774
退職給付に係る調整額	4,772	5,091
その他の包括利益合計	△294,077	168,519
四半期包括利益	262,753	721,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,753	721,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,243,587	1,122,181	3,554,218	15,919,988	—	15,919,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	473,657	1,229,705	41,450	1,744,812	△1,744,812	—
計	11,717,244	2,351,886	3,595,669	17,664,801	△1,744,812	15,919,988
セグメント利益	397,005	308,714	173,533	879,253	△12,907	866,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,907千円には、セグメント間取引消去2,492千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,400千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,222,981	793,042	2,764,375	15,780,398	—	15,780,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	627,456	1,219,185	70,401	1,917,043	△1,917,043	—
計	12,850,437	2,012,227	2,834,777	17,697,442	△1,917,043	15,780,398
セグメント利益	492,545	196,447	68,533	757,527	△16,976	740,550

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,976千円には、セグメント間取引消去△2,454千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14,522千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。